

JSHCT Letter

No.10

The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植学会

June 2002

発刊発行：日本造血細胞移植学会 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 名古屋大学医学部第一内科内 TEL (052) 744-2146 FAX (052) 744-2161
発行者：河 敬世 編集責任：日本造血細胞移植学会編集委員会 印刷：株式会社セントラルコンベンションサービス 年4回発行：2002年6月

第25回 日本造血細胞移植学会

大阪府立母子保健総合医療センター(小児内科)
会長 河 敬世

この度は第25回日本造血細胞移植学会のお世話をさせていただくことになり、大変光栄で名誉なことと思っております。多くの領域でみられています学会/研究会の細分化から再統合への大きな流れの中で、本学会は、学術集会の参加者が年々増加傾向にあり、まさに発展途上の成長期にあります。その理由はいろいろ考えられますが、ひとつには造血細胞移植医療を提供するためには、時代の最先端の知識と技術、豊富な経験とチームワークが必要であります。そのためには基礎医学と臨床医学の密接な連携に加え、社会医学や看護、教育・福祉、医療行政、生命倫理学などあらゆる分野の包括的かつ集学的な取り組みが求められるのでありましょう。このような時期に大役を仰せつかり責任の重さを痛感しておりますが、学会員の皆様や関係各位のご指導とご支援をいただき、内容の充実した、ご満足いただける学術集会にすべく努力いたしておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

会期と開催場所ですが、本年10月24日(木)、25日(金)の二日間、大阪国際会議場で行います。本学会は例年12月に開催されてきましたが、今年は本学会の関連学会であります血液学会・臨床血液学会の同時開催が9月にありますので、前倒しの期日となっておりますのでお間違いのないようご注意ください。会場の大阪国際会議場ですが、一昨年オープンしまして、その利便性(大阪駅から約10分)から好評を呈している会議場であります。

本学会のテーマ(スローガン)ですが、「バリアーを越えて」といたしました。まずHLAのバリアーですが、GVHDとGVT効果の免疫学的背景の理解をさらに深める必要がありますし、すべての患者さんにドナー提供が可能なHLAミスマッチ間移植も、試験段階から臨床応用へ発展させるために、感染症や再発に対する有効な解決策を見出す必要があります。年齢のバリアーは、ミニ移植法の登場で克服されつつはありますが、今後の多数例でのさらなる検討が求められています。骨髄バンクや臍帯血バンクの国際ネットワークがさらに充実したものに発展すれば、人種や国境のバリアーを越えて、紛争の絶えない地球上に、恒久的な世界平和が訪れるかもしれません。

具体的な内容ですが、2つの特別講演:(1)「The role of the thymus 仮題」EW Gelfand(National Jewish Hospital, Denver)、(2)「造血幹細胞移植の歴史と未来像 仮題」正岡 徹(大阪成人病センター顧問)と2つの招待講演:(1)「New direction of SCT 仮題」池原 進(関西医大病理)、(2)「Dendritic cellの機能と異質性 仮題」福原資郎(関西医大1内)、4つのシンポジウム:(1)SCTの新たな適応 自己免疫疾患、(2)急性白血病の治療戦略 chemo vs SCT、(3)造血移植の適応と問題点、(4)SCT患者・家族のQOL、4つの特別セミナー:(1)Skin careと移植看護、(2)SCTとウイルス感染、(3)免疫抑制剤の適正な使い方、(4)血縁者間ミスマッチ移植が計画されています。さらに臍帯血移植やex vivo expansion、SCT後の細胞療法などのワークショップと教育的なランチセミナーも多数予定されています。

一般演題応募や宿泊予約はすべてインターネットでお願いしております、ホームページ:
<http://www2.convention.jp/jshct25/>にアクセスして下さい。応募締め切りは当初5月30日と表示しておりましたが、当方の不手際で会員の皆様への連絡が不十分でしたので6月30日までとさせていただきます。一般演題はすべてポスター展示です。

今年にはサッカーのワールドカップが日韓共催で開催されます。関連行事の一環としまして、25日の夜に日韓交流の骨髄バンク支援公開フォーラムが計画されています。阪神タイガースが5月16日現在、セリーグのトップを走っております。学会開催時にはどうなっているでしょうか、楽しみです。楽しい話題ついでに懇親会のご案内と宣伝をさせていただきます。学会前日の23日(水)の夜、USJで会員懇親会を予定しております。USJの入場券と懇親会代がセットになっております。早めにご来阪いただき、USJを少しでも見物されてから懇親会場(USJ内)にお越し頂ければと思います。費用は少し割高になりますが、せっかくの機会ですので是非ご参加いただきたいと思ひます。いろいろ制約がございまして、先着400名様で締め切らせていただきます。詳細は学会のホームページをご参照下さい。

10月の大阪は気候もしのぎやすく、今年は明るい話題にも事欠きません。多くの会員の皆様にご来阪、ご参加いただきますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康と益々のご発展を祈念いたしております。

- 会長挨拶
- プログラム
- 演題登録
- 会場図
- 交通・宿泊
- 懇親会のご案内
- リンク集

第25回

日本造血細胞移植学会総会

—バリアを超えて—

会長 河 敬世

日 時：2002年10月24日(木)～25日(金)
 主 催：大阪府立母子保健総合医療センター・小児内科
 資 格：大阪府立母子保健総合医療センター・小児内科
 会 場：大阪府立母子保健総合医療センター・小児内科

■ 事務局 ■

学術：大阪府立母子保健総合医療センター・小児内科
 TEL:0725-56-1220 FAX:0725-56-5682
 運営：日本コンベンションサービス株式会社
 TEL:06-6221-5933 FAX:06-6221-5938
 E-mail:jshct25@convention.co.jp

日本造血細胞移植学会臨床研究委員会規約

第1条（名称）

本委員会は、日本造血細胞移植学会臨床研究委員会と称する。

第2条（事務局）

本委員会の事務局は日本造血細胞移植学会会長の施設に置く。

第3条（目的）

本委員会は、日本造血細胞移植学会としての臨床研究の方向性を検討し、具体的に提案された臨床研究を評価し、本学会の主導による質の高い臨床研究を推進することを目的とする。

第4条（事業）

本委員会の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1.定期的に委員会を開催し、臨床研究の方向性を検討するとともに、具体的に提案された臨床研究計画を評価し、それに基づいて研究計画の修正や変更を求め、研究計画のための助言を行う。
- 2.厚生労働省や文部科学省の班研究と密接かつ有機的な連携を積極的に行う。
- 3.必要に応じて、ad hoc committeeとして小委員会を組織する。
- 4.研究の質を高めるためのデータ管理センターのあり方について検討する。
- 5.委員会の審議内容と臨床研究の進捗状況については、適宜理事会、評議委員会、総会に報告し、審議内容については定期的にニュースレターに掲載し広く意見を求めるものとする。委員会が必要と判断する提案や評価結果については理事会の承認を得る。

第5条（委員）

本委員会の委員は、日本造血細胞移植学会の前会長、現会長、次期会長の他、若干名の評議員の約10名により構成される。委員長は現会長とする。委員の任期は2年で、再任を妨げない。ただし、引き続き2期までとする。

第6条（委員の選出）

委員は理事会で選出し、評議員と総会で承認を得る。委員の改選は半数ずつ行う。

第7条（規約の変更）

本委員会の規約は本委員会によって変更することができる。

付則 本規約は2001年12月21日より有効である。

<事務局からのお知らせ>

先号にてお知らせいたしました臨床研究委員会の委員名簿箇所に誤りがございました。谷本光音先生のお名前が抜けておりましたので、訂正をお願いするとともに深くお詫び申し上げます。

平成15年度評議員応募申請について

平成15年度本学会評議員の応募申請要項をお知らせいたします。なお、選任委員会の協議を経て、本年度総会の理事会・評議員会で承認され総会で決定されますと、平成15年4月1日より本学会の評議員となります。

平成15年度日本造血細胞移植学会評議員応募申請要項

下記の事項を順にA4用紙に記載し、平成14年8月24日(土)までに日本造血細胞移植学会評議員選任委員会宛て書留にて郵送してください。なお、原本の他に、原本のコピー7部を必ず同封してください。要項に則しない申請書に関しては選考がおこなわれない可能性があります。

記

このたび平成15年度日本造血細胞移植学会評議員に応募します。

- 1 氏名(ふりがな)印
- 2 生年月日(平成15年4月1日現在の年齢)
- 3 所属施設 / 所属部署 / 職名 / 住所 / 電話番号・FAX番号 / e-mail
- 4 連絡先(3と異なる場合に記載)
- 5 学会(骨髄移植研究会を含む)入会年(5年以上正会員で会費完納が条件です。入会年、会費納入状況等のご不明の場合には事務局までお申し出下さい。連絡先:(052)971-5550)
- 6 学歴/職歴(造血細胞移植との関連が判るように)
- 7 資格(医師、看護婦(士)等)
- 8 所属学会/団体(役職)
- 9 専門分野(関連の深い分野から3分野以内を具体的に記載。医師の場合は必ず内科/小児科/輸血/その他臨床系(外科、泌尿器科など)/基礎系のどの分野で主に活動しているかが判るように記載して下さい。医師以外の場合は、基礎系研究者、看護、検査、ME、治験管理、など具体的に記載してください。30字以内)
- 10 医療業績(できる限り簡潔書きにして400字以内で記載。造血細胞移植経験症例数を必ず記載して下さい。記載が無い場合は移植経験が無いものとみなします。)
- 11 研究業績(造血細胞移植に関連のある事項を400字以内で記載してください)
- 12 発表業績
別紙に記載し添付して下さい。
論文
【欧文業績と邦文業績を別々に、原著/総説/その他に分けて最近のものから順に番号を付けて、著者名(全員、申請者には下線を引く)題名 発表誌 年;号:最初の頁 - 最後の頁 IF(インパクトファクター);の形式(著者を全員記載し申請者に下線を引くこと、及び、IFを付ける以外はBONE MARROW TRANSPLANTATIONに準じる)で記載して下さい。IFは最新(2002年度版;2000 Science Edition Journal Rankings)のJournal Citation Reportsを用いてください。IFが無いものに関しては「なし」と記載して下さい。造血細胞移植に関連する業績には番号に を付けて下さい。】
学会発表
【過去10年間の筆頭演者としての発表を最近のものから順に番号を付けて、演者(3名までに省略可)演題名 学会名 発表年、地名(発表形式;シンポジウム、口演、ポスターなど)を記載して下さい。】
- 13 その他
(学会評議員に募集するにあたり特に主張されたいことがあれば200字以内で記載して下さい)

送付先:〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学研究科分子細胞内科学(第一内科)

日本造血細胞移植学会事務局

(日本造血細胞移植学会評議員選任委員会と付記する)

問い合わせ先:日本造血細胞学会事務局

e-mail: jshct@med.nagoya-u.ac.jp

Phone: (052)744-2146 FAX: (052)744-2161